

はなれている

家族のことを

知りたい

子どもたちへ

はなれている家族のことを知りたい子どもたちへ

2022年12月18日 第1版発行

発行(研究者) / 琉球大学法科大学院

教授 矢野恵美

琉球大学法科大学院

教授 齋藤 実

岐阜大学地域科学部

教授 立石直子

関西福祉科学大学健康福祉学部

教授 松村歌子

編集・執筆 / コピーライター・クリエイティブディレクター 船戸梨恵

制作・印刷 / 株式会社ダイキュー

この冊子は、2020年度三菱財団研究助成「ジェンダーの視点から見た『犯罪者を親にもつ子ども』への支援と法」を受けて作成しました。



か ぞく けい む しょ
家族が刑務所にいる

こ
子どもたちへ

いま、このパンフレットを見ているのは、お母さんやお父さん、その他の
はなれている家族が刑務所にいることを知っているみなさんだと思います。なかには、その家族にいろいろな思いをもっている人もいます
でしょう。

でも、みなさんはそもそもその家族が刑務所でどんな生活をしているか、
知っていますか？ その家族が「どうしているだろう？」と思っても、
なかなか自分では聞けないかもしれません。まずは、その家族の毎日を
知ってみませんか？

このパンフレットは、みなさんにお母さんやお父さん、その他のはなれ
ている家族の様子を伝えるためにつくられました。少しでもみなさんの
やく た 役に立てばうれしいです。



こ じゅ けい しゃ
子どもをもつ受刑者のみなさんや

こ よ そ かた
子どもたちに寄り添う方たちへ

家族が受刑していることや、受刑中にどんなことをしているかを
子どもに伝えるのは、簡単なことではありません。そのため、「本当の
ことを伝えたいけれど、どうやって話したらいいかわからない」「話す
きっかけがみつからない」と悩んでいる方も多いと思います。

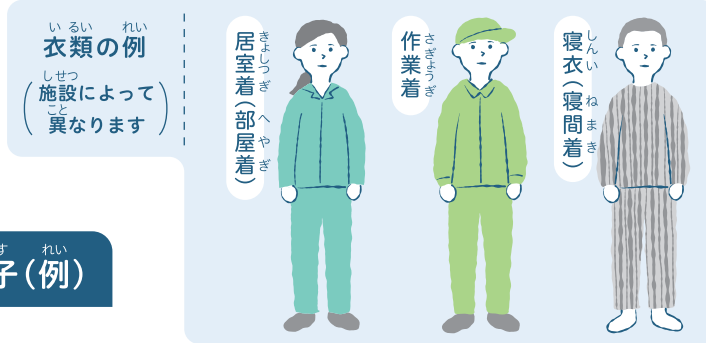
子どもによって最適な伝え方やタイミングは違いますが、正しい情報を
知ることは、子どもにとって非常に大切なことです。もし困った時は、
この冊子を渡したり、一緒に冊子を見ながら、書かれていることを
説明したりしてみてください。そして、子どもと話し合い、子どもの
声に耳を傾けてください。

この冊子が、家族と離れて暮らす子どもたちの疑問や不安を解消する、
一助になればと願っています。

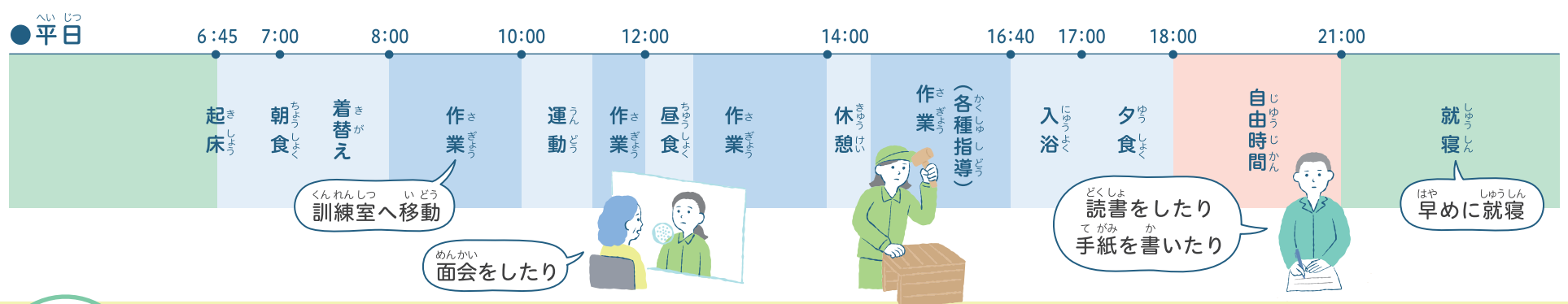
刑務所ではこんな生活をしています

刑務所では、女性と男性は別々に生活しています※1。刑務所では、反省して社会復帰をするために、作業をしたり指導を受けたりしなければなりません。そのため、起きる時間から寝る時間まで、1日のスケジュールが決められています。刑務所にいる人たちは、規則正しい生活習慣を身につけるために、たくさんの人といっしょにルールや時間を守りながら生活しています。お酒を飲むことや、タバコを吸うことはできません。

みなさんが通っている学校と同じように、刑務所にいる人も土曜日や日曜日、祝日はお休みになります。ただし、お休みといっても、刑務所の外に出ることはできません。部屋で読書をしたり、テレビを見たり、手紙を書いたりして過ごします。



1日の様子(例)



刑務所での生活について、もっと知りたい人は、
法務省の資料も参考にしてください。

法務省矯正局パンフレット
<https://www.moj.go.jp/content/001311951.pdf>



※1 戸籍に書かれている性別によって、入る刑務所が決まります

ものづくりや農業などの

「生産作業」^(※2)をしています

刑務所では、木や金属を使って製品を作ったり、服を縫ったり、印刷をしたり、農場で花や野菜を育てたりと、いろいろな作業を行う時間があります。こうした作業をすることで、社会で働くために必要な技能や習慣を身につけています。



こんなものをつくっています



かわぐつ
革靴



かく
家具



がんぐ
玩具

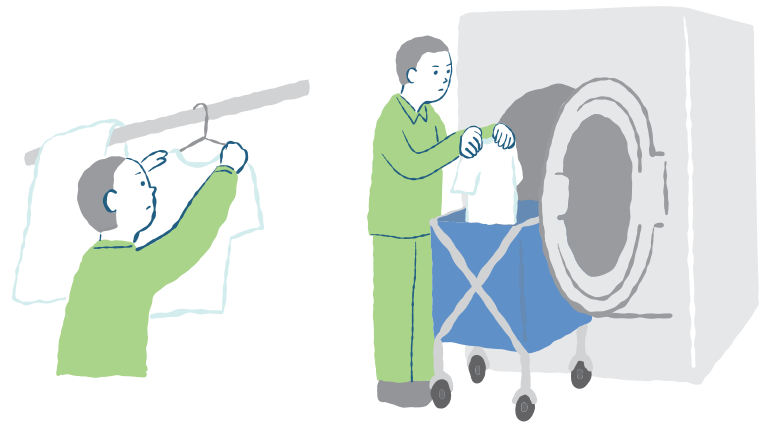
刑務所のことを多くの人に知ってもらうために、作られた製品を販売するイベントなどが行われることもあります。

※2 刑務所で行う「刑務作業」のうちの1つです

毎日の生活に必要なことは

自分たちで行っています

みんなの食事を作ったり、衣服を洗濯したりと、生活に必要なことは役割を分担して行っています。お金を計算する仕事や、壊れた場所を修理する仕事などもあります。自分の部屋を掃除する、服をたたむなど、身の回りのことは自分でしています。



ちゅうしょく いちれい
昼食の一例

- チーズオムレツ
- ごはん
- ひじき炒め
- きのこ和風スープ

社会復帰をめざして、さまざまなこと

刑務所を出てからもしっかりと生活が送れるように、さまざまな指導を受けています。たとえば、これまでの自分を反省し、罪を繰り返さないようにするための学習や、交通安全など社会のルールを守るための学習、仕事を見つけて長く働くための学習などがあります(※3)。

講話を聴いたり、面接をしたりして、正しい考え方や被害者・遺族の気持ちなどを学びます。親子のことを学ぶ場合もあります。



グループで話し合いをするワークショップで、もう犯罪をしないようにするための勉強をします。



※3 これらを「改善指導」と呼びます

を学んでいます

また、一般的な勉強をする人もいます。これまでなかなか学校に行けなかった人など、必要に応じて、刑務所の中で勉強をしています。なかには、中学校の卒業をめざす人や、高校卒業と同じくらいの学力があることを認めてもらう試験を受ける人もいます(※4)。



※4 これらを「教科指導」と呼びます

就職に向けて、職業訓練や仕事探し

刑務所から出た後、仕事をみつけて働くためには、仕事についての知識や技術が必要です。そのため、仕事をするのに必要な免許や資格をとったり、より高い知識や技術を身につけたりできる職業訓練を受けています。

職業訓練の一例



介護福祉

高齢者などのお世話を
する資格をとるための
勉強をします。

フォークリフトの 免許取得

荷物運ぶフォーク
リフトが運転できる
免許を取ります。



をしています

刑務所から出る日が近づいた人は、これまで刑務所で学んだことや身につけた資格をいかして、自分に合った仕事を見つけられるように、どんなところで働きたいか相談をしたり、働く人を探している企業を紹介してもらったりしています。



就職相談や就職先の紹介など、
社会で働くためのサポートを
受けることができます。

こころ からだ けん こう
心や体の健康もサポートされています

刑務所の中でも健康診断があり、病気やけがをした時には、医師の診察を受けたり薬をもらったりと、治療を受けられます。刑務所の外にある病院に通院や入院をすることもあります。刑務所での生活で悩んだ時には、刑務所の外から来る面接委員に悩みを相談したり、アドバイスを受けたりすることができます。また、希望すれば宗教の話を聴く機会もあります。



がいぶ めんせつ いいん
 外部の面接委員や
 しゅうきょう おし と
 宗教の教を説く
 ひと そうだん
 人に相談をする
 ぎかい
 機会があります。



ぎ せつ ぎょう じ おこな
季節ごとの行事も行われています

規則正しい生活習慣を身につけるため、刑務所でも季節ごとに行事があります。春には桜を見る「花見」、夏には「盆踊り」、秋には「運動会」などが行われます(施設によって異なります)。また、大みそかやお正月には、簡易な年越しそばやおせちなどを食べます。



自由に過ごせる時間も

もう 設けられています

作業や改善指導がお休みの日や寝る前などには、自由に過ごせる時間も
あります。刑務所の中で行われているクラブ活動に参加したり、
勉強するための時間にあてたりするほか、テレビやラジオ、読書など
自分のしたいことをして過ごします。家族への手紙もこの時間に書く
ことができます。また、今までの自分やこれからの生活をみつめ直す
時間にもなっています。

家族から届く手紙を
読んだり、家族への手紙を
書いたりすることも
できます。



勉強や読書をしたり、
テレビを観たりして、
自分の部屋で
過ごします。



家族と交流をすることもできます

刑務所においても、家族とまったく会えないわけではありません。



刑務所にいるお母さんやお父さん、その他のはなれている家族に手紙
を送ったり、家族が会いたい時には、刑務所へ行って面会をしたりする
こともできます(平日のみの施設が多いです)。

最後に

この冊子を読んで思ったことがあれば、
周りの大人に話してみてください。
ここまで読んでくれてありがとう。
もし、みなさんがお母さんやお父さん、
その他のはなれている家族の様子を知るのに、
この冊子が少しでも役に立ったなら嬉しいです。